

(8) 授業検証

低学年団体育科授業案 (3/4時)

(昭和46年12月8日 水曜 3校時)

- (1) 題材名 高とび・ボールけりあそび  
 (2) 目標 (1) 助走し、片足でふみきって高くとぶことが、できるようにさせる。  
 (2) 対列フットボールのゲームが、できるようにさせる。  
 (3) 準備 タンプリン、ゴムひも4本、旗8本、サッカーボール1こ

| 領域                   | ねらい   | 時間                           | 内容と活動  | 教 授 と 分 担  | 形 態        | 反 応 ・ 評 価   |   |
|----------------------|---|------------------------------|--|--|------------|---|---|
|                      |   |                              |  | TL (W) ST (T)  |            |   |   |
| 体 操 (リズムに合わせて足うちとび)  | リズムに合わせた動きで、身体を全身的に動かす調整力を養う。<br>ふとぶことにより、蹴しう性を養う。                              | 10                           | 1 集合する。<br>2 字遊びのめあてをきく。<br>3 リズムに合わせて動く。<br>4 足うちとびをする。       | ・集合<br>・学年ごとに2列に集合させる。<br>・本時のめあて指示<br>・高とび、ボールけりあそびについて話す。<br>・リズムに合わせての指示<br>・歩いたり、走ったりさせる。<br>・足うちとびの指示<br>・このように2人組で足うちとびができるでしょうが。<br>・2人組でさせる。           | 大集団        | ・服装の点検をする。<br>・健康状態を観察する。<br>・危険物をとりのぞく。<br>・高とびの準備をする。<br>・ピアノをひく。<br>・2人組でのしかたをする。<br>・児童の反応をたしかめる。<br>・巡視して矯正する。(空中で蹴しうに足うちができたか)  | ①<br>・できた。(1年13/17) 2年<br>・むずかしそう。(1年13/17) 2年<br>・よくできた。(1年13/17) 2年<br>・だいたいよくできた。(1年13/17) 2年                      |
|                      |   | 10                           | 1 助走をつけて片足ふみきり高くとぶことができるようにさせる。<br>教師の示範<br>グループとび<br>話し合いをする。 | ・助走をつけてのふみきり方指示<br>・走って片足ふみきりして本つづけてふとぶことを話す。<br>・グループでの練習をさせる。<br>・1年組は、片足のふみきり方に注意してとばせる。<br>・話し合い<br>・うまくとべなかった人は、ありませんか。<br>・それは、どんな時でしたか。<br>・ボールけりへの移動指示 | 大集団<br>中集団 | ・助走をつけてのふみきり方をする。<br>・2年組を担当する。<br>・児童の反応をたしかめる。  | ②<br>・とべない。(1年13/17) 2年<br>・だいたいとべた。(1年13/17) 2年<br>・ふみきり足が反対になった。高すき足がゴムひもにひっかかる。<br>・助走がよわい。                        |
| ボ ー ル 運 動 (ボールけりあそび) | 対列フットボールのゲームができるようにさせる。<br>対列フットボールのゲームのしかたについて。<br>対列フットボールゲームをする。<br>話し合いをする。 | 25                           | 1 話し合いをする。<br>2 対列フットボールゲームをする。<br>3 話し合いをする。                  | ・対列フットボールゲームの指示<br>・ボールをとらえた人がそのボールをけらせる。<br>・途中で前列、後列を交替させる。<br>・点すうを表に書く。<br>・強くけるためのくふうをさせる。<br>・時間をはかる<br>・ゲームの結果を記録する。<br>・ゲームの方法がわかったか。(個人児童への反応をたしかめる)  | 大集団<br>小集団 | ・対列フットボールゲームの指示<br>・ボールをとらえた人がそのボールをけらせる。<br>・途中で前列、後列を交替させる。<br>・点すうを表に書く。<br>・強くけるためのくふうをさせる。<br>・A組ゲーム<br>・B組ゲーム<br>・優勝チームゲーム<br>・本時の話し合いと次時への予告<br>・ボールがはいったのは、どんなときでしたか。<br>・ボールがとめられなかったのはどんなときでしたか。<br>・この次の時間は斜から走っての高とびや、ボールけりのしかたをします。<br>・整理運動の指示<br>・けがないように片づけさせる。<br>・手洗い、汗ふきをさせる。<br>・用具整理指示 | ③<br>・おかつた。(1年13/17) 2年<br>・だいたいおかつた。(1年13/17) 2年<br>・強くかつた。<br>・高くかつた。<br>・あいているところはわからなかった。<br>・強かつた。<br>・カバーしなかった。 |
|                      |   | 4 整理運動をする。<br>5 用具のあとしまつをする。 |  |  |            |   |   |

(9) 考 察

① 指導計画について

ア、学年別による単位時間での授業では、準備面時間がかかり3領域(体操、ボール運動、陸上運動)の内容構成がふじゅうぶんであったが、合併して行なうことにより容易になった。

イ、領域の組み合わせ、時間配当は適当と思われた。

② 基調案について

内容の程度については、さらに研究を進めたい。

③ 授業について

ア、体操の領域を主運動に対する準備運動として取り扱ったことは、効果的であった。

イ、教師の示範は、低学年の技術を理解させるのに効果的であった。特に2人組みで行なう内容は、2教師の示範指示により、一そう効果があがったように思われる。

ウ、活動力において特に差のある児童に対しては、事前に配慮したが、その差はあまりみられなかった。

エ、教師の一方的な技術面の指導にとらわれず、じょうずな児童の運動をみせたり、児童側から発見させたりしたことが、調整力をのばしたように思われる。

オ、集団行動様式がまだ徹底していない、合図によって行動できるように訓練しなければならない。

④ 児童の反応について

ア、学年単位の普通授業と2学年の合併授業との比較結果は、下記のものであった。

- ・人数が多くなり、組み合わせがたくさんできて、ゲームが楽しい。(1・2年)
- ・いつもいっしょにやりたい。(1・2年)
- ・先生が2人いると楽しい。(1・2年)
- ・1年生に負けたくないと思った。(2年)
- ・高いだんがとべるからおもしろい。(1年)
- ・2年生に負けまいとがんばった。(1年)
- ・友だちのじょうずなところがみられる。(1年)

イ、これらの反応からもみられるように、児童ひとりひとりの主体性が高まり、効果的であったと思われる。

⑤ 教師の協力分担について

ア、基調案による共通理解は、相互に特性が活かされ、計画に満足感がもたれた。

イ、役割分担内容の具体化は、STの活動量も多くなり、ともに主体性がもたれた。

ウ、協業・分業には充足感ももたれたが、統制という面で一方的になったのではないかと懸念ももたれた。今後の研究にまつことが多いため、ご批判、ご指導を願いたい。